

[研究ノート]

続・法学部における アクティブ・ラーニングの実践例の紹介

清水 正 博

1. はじめに
2. 講義中のリアルタイム意見反映システムの利用
3. システム利用の効果
4. おわりに

1. はじめに

近年、様々なところで、大学の講義は知識の伝授が中心であるが、大衆化した大学において、もはや知識の伝授を中心とするのみでは大学の教育は成立しえないのではないかという懸念⁽¹⁾に触れることがある。筆者も現在の大学教育においては、単純な知識の伝授だけではなく、教員側が様々な『仕掛け』を実践し、学生の能動的な学びを促し、様々な体験をさせることが必要であり、そうしなければ大学教育が成立しえないのではないかと考えている。

そのため、これまで、AR（拡張現実）を用いた講義プリントを用い、講義プリント内の画像にスマートフォンをかざすと音や映像、文字などが表示されるような『仕掛け』を用い、受講学生が講義内および講義外で能動的に学習できる取り組みを行ってきた⁽²⁾。また、法学部版『聖地巡礼』プロジェクトと題して、法学部生であれば誰もが知っている有名な判例、

事件の現場での合宿を通じ、新たな観光資源の発掘、地域活性化を検討する『仕掛け』も行ってきた⁽³⁾。

本稿では、新たな『仕掛け』として、講義中のリアルタイム意見反映システムを利用した取り組みについて紹介したいと思う。

2. 講義中のリアルタイム意見反映システムの利用

講義中のリアルタイム意見反映システムとは、受講学生が所持するスマートフォンを用いて、適宜メッセージを送信させ、そのメッセージをプロジェクター等で講義室の正面などに投影するものである。

このシステムを利用することによって、適宜、受講学生からのメッセージに教員が反応し、コメントをするなどして、これまでの教員側からの一方通行的な講義からの脱却を図ることができると考えている。

当初は、Twitter の利用、LINE の利用などを検討してきたが、メッセージを送る際の匿名性が担保できず、試行錯誤を繰り返してきた。

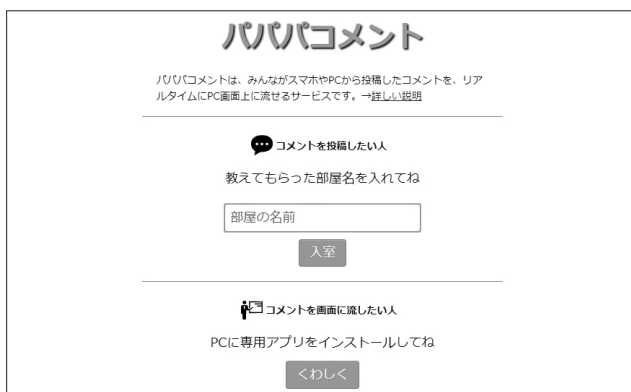
受講学生がメッセージを送る際に、誰が当該メッセージを送ったかが特定される形であると、今日の学生はメッセージを送ることに消極的にならざるを得ない傾向がある。そのため、次に検討したのは、筆者が独自に作成している Web ページ上でのチャットルームを用いる方法であるが、わざわざチャットルームにログインする手間などがあり、活発なメッセージのやり取り、掲示を行うことができなかつた。

このような中で、パパパコメントに出会い、これを用いることにより、受講学生が気軽にメッセージを送り、それを掲示することができるようになった。

開発者のホームページでは、「パパパコメントはコメントを画面に流したい人（プレゼンター）が作成した部屋に、コメントを流したい人（コメンター）がスマホ・タブレット・PC ブラウザからコメントを投稿し、プレゼンターの PC 画面上にみんなのコメントを流せるサービスです」と説



(図1) パパバコメントを教員のパソコン上で起動させた様子⁽⁴⁾



(図2) コメント送信画面

明されている。

3. システム利用の効果

現在のところ、筆者が担当する中央学院大学法学部での開講科目「会社法」、「有価証券法」、「企業法概論」において講義中のリアルタイム意見反

映システムの利用を行っているが、受講学生の反応は概ね好評である。

中には、講義と無関係のコメント、メッセージを表示させる学生も見受けられるが、講義時間中継続するわけでもなく、講義と関連したコメント、メッセージにまとまっていく流れができてきた。

また、講義中の教員側からの、「○○だと思う人は手を挙げて」等の問いかけに、ある種の気恥ずかしさなどで対応しない、できない学生が多く見受けられる現状で、リアルタイム意見反映システムの利用により、反応、対応することができる学生が多くなってきている。

4. おわりに

講義中のリアルタイム意見反映システムの利用は、従来の一方通行型の講義の流れを変化させるとともに、大講義室等の空間で声を上げる、リアクションを見せることが苦手な学生にとって、有意な『仕掛け』であると考えている。

今後は、講義のネット配信も視野に入れ、講義室での受講学生のリアルタイムの意見、コメントを見ながら、ネット配信の受け手も意見、コメントを送信し、やりとりできるようなシステムを構築できればと考えている。

注

- (1) 阿部和厚「教育の生産性とその評価—学生の参加型授業からみて」高等教育ジャーナル（1998年）138頁。
- (2) 清水正博「AR（拡張現実）を用いた講義手法の検討」中央学院大学人間・自然論叢第40号（2015年）。
- (3) 清水正博「法学部におけるアクティブ・ラーニングの実践例の紹介」中央学院大学法学論叢第31巻第2号（2018年）。
- (4) <http://papapac.com/usage.html>